

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	719	地産地消事業	会計	01	一般会計	
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	款	06	農林業費	
施策	4	高付加価値化の推進	項	01	農業費	
			目	03	農業振興費	
			細目	113	地産地消事業	
			細々目	01	地産地消事業	
基本計画該当頁	163	担当部課	コード	603500	評価者	高崎 義昭
行革大綱の重点事項番号		名称	鳥ヶ原支所 産業建設課		連絡先	59 - 2294 (内線) 45

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	施設の利用者 (※対象件数)	奥村区が鳥ヶ原農産物処理加工施設の指定管理者となることで、施設の管理運営が円滑に行われ、快適に利用できる。
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
事業内容	・会議室等の使用許可、利用料金の徴収 ・施設の保守管理	状況変化等
		鳥ヶ原農産物処理加工施設の設置に関する条例

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
年間開館日数	日	目標 100 実績 83	目標 100 実績 107	100	100
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(奥村区)
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	140 千円
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
施設年間利用率 (年間利用日数/年間利用可能日数)	施設年間利用率を算定するため、年間利用可能日数を分母とし、年間利用日数を分子とした。	%	目標 30 実績 22.7	目標 27.4 実績 29.3	27.4	27.4
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	設置条例に基づき加工施設を管理するために必要である。
有効性	3	日常管理人を設置しない施設であり、地元区である奥村区が指定管理者になることで、加工及び漬込室、会議室等の使用についての使用許可、利用料金の徴収、施設の保守管理が円滑に行われている。
達成度	3	概ね計画どおりに業務が行われている。
効率性	4	現在の管理運営手法を継続することが、経費を低く抑えられ効率的である。事業費を現行以下にできるかは現在のところ未定である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	特になし。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額 (千円)												
	委託	施設維持管理委託料			155	施設維持管理委託料			140	施設維持管理委託料			140	施設維持管理委託料			140
	工事																
	進捗率 (%)	事業費計(A) Σ 155				事業費計(A) Σ 140				事業費計(A) Σ 140				事業費計(A) Σ 140			
	事業投入人員	人件費(B)	0.2	人	1,440												
	フルコスト (A)+(B)	1,595				1,580				1,580				1,580			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	金額	(B) 人件費	金額	(A)+(B) 総額	金額
国庫支出金					
Aの財源内訳					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	155		140	140	140
計	155		140	140	140
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				